

複合材料部門委員会 平成 22 年度事業計画(案)

1. 定例委員会

回	年月日	場所	担当委員	備考
224	H22.6	大阪または京都	大窪	日本木材加工技術協会 WPC 部会との合同研究会
225	H22.8	関西地区		JCOM 若手シンポジウム中に特別講演会を開催
226	H22.10	名古屋	島村	東レオートモーティブセンター
227	H23.1	未定	北條	接着学会との合同研究会

2. IWGC-6 担当：合田

開催日：2010 年 9 月 8～10 日

会場：Kumoh National Institute of Technology (韓国)

3. ACCM-7

開催日：2010 年 11 月 15～18 日

会場：Taipei International Convention Center (台湾)

ICFC-5

10/16-19 (南京)

4. 国際学術交流 担当：倪慶清委員

ACCM-7 開催日前後のどちらかに会社または研究所訪問

5. 見学会 担当：島村佳伸委員

第 226 回定例委員会で実施予定.

6. JCCM-2 担当：日本複合材料学会, JCOM から倪慶清委員

開催日：2011 年 3 月

場所：関東地区

7. JCOM 若手ワークショップ 2010 担当：(石田). 長坂

開催日：2010 年 8 月

場所：関西地区

目的：若手研究者に対する研究奨励および人的交流

実施要領：講演申込み制, 年齢制限設ける. 40 歳未満 (学生含む). 1 泊 2 日 (温泉地等にて泊り込み) で, 1 会場のみで実施. 講演件数は 20～30 件くらい. このうち, 歴代の委員長 and/or 海外の著名研究者による解説講演を 1～2 件程度含める.

8. 小委員会

幹事会, JCCM-1, JCCM-2 実行委員会など随時開催

9. 研究ワーキンググループ

- 1) グリーンコンポ WG (主査：大窪和也委員)
- 2) 量産車用コンポジットの開発 WG (主査：田中和人委員)

10. 会誌「材料」連載講座

講座テーマ「バイオコンポジットの現状と将来展望」 担当：合田，高坂達郎委員

2010年11月号「単一素材から成るグリーンコンポジットーグリーンコンポジットの現状と将来展望(1)ー」 高木均(徳島大学)

2010年12月号「天然繊維の高靱化・高強度化と評価方法」ーグリーンコンポジットの現状と将来展望(2)ー」 合田公一(山口大学)

2011年1月号「セルロースを強化材とするグリーンコンポジットの現状と将来展望」
板倉雅彦(ダイセルポリマー(株))

2011年2月号「バイオマスの炭化によるバイオコンポジットーウッドセラミックスの現状と将来展望ー」 岡部敏弘(青森県産業技術センター)

2011年2月号「医療用バイオコンポジットの現状と将来展望」
東藤貢(九州大学)

11. その他

- 1) 60周年記念行事にともなう書籍発刊に関わる作業部会の発足(主査：高木均委員)
- 2) 部門委員会単独による論文賞，奨励賞など表彰規定作成部会(主査：日下貴之委員)

平成 22 年度日本材料学会 複合材料部門委員会 幹事及び担当委員 (案)

氏名	所属	役職	備考
合田 公一	山口大学	委員長	IWGC-6, 連載講座
倪 慶清	信州大学	幹事	副委員長, (国際交流) (JCCM-2)
野田 淳二	山口大学	幹事	庶務
日下 貴之	立命館大学	幹事	表彰規定作成部会
大窪 和也	同志社大学	幹事	本部企画事業委員, GCWG, 定例会
西藪 和明	大阪府立高専	幹事	(若手7-7ジョイント)
高坂 達郎	大阪市立大学	幹事	本部編集担当委員, 連載講座
倉敷 哲生	大阪大学	幹事	若手7-7ジョイント
田中 和人	同志社大学	担当	HP, 量産車用コンポ WG
高木 均	徳島大学	担当	60 周年記念出版作業部会
北條 正樹	京都大学	担当	定例会, ACCM
小沢 喜仁	福島大学	担当	東北
轟 章	東京工業大学	担当	関東
島村 佳伸	静岡大学	担当	中部, (定例会)
中田 政之	金沢工業大学	担当	北陸
黄木 景二	愛媛大学	担当	中国四国

役職欄の「担当」は担当委員であり, 必要に応じて幹事会に参加できる.